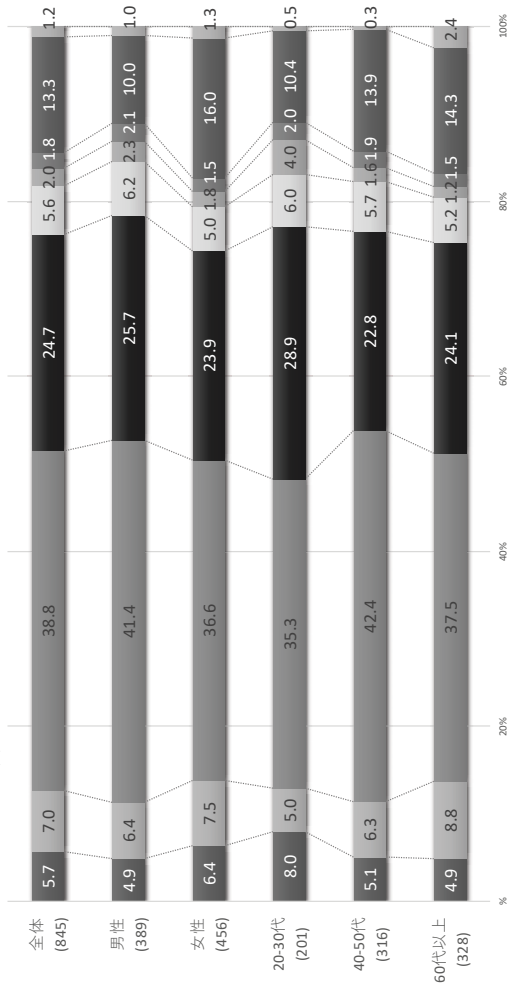


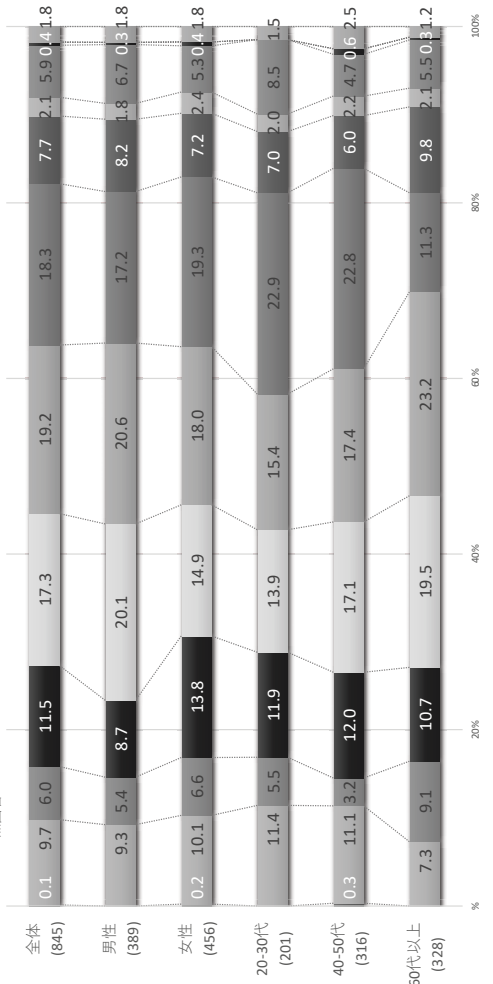
Q 1 (一般) : 平均的な医師の診断に匹敵するAIの開発に必要な年月

- すでに実現
- 1年程度(1~2年)
- 数年程度(3~9年)
- 早くて10年ぐらい(10年~)
- 早くて20年ぐらい(20年~)
- さらに長い期間(30年以上)
- 実現することはない
- わからない
- 無回答



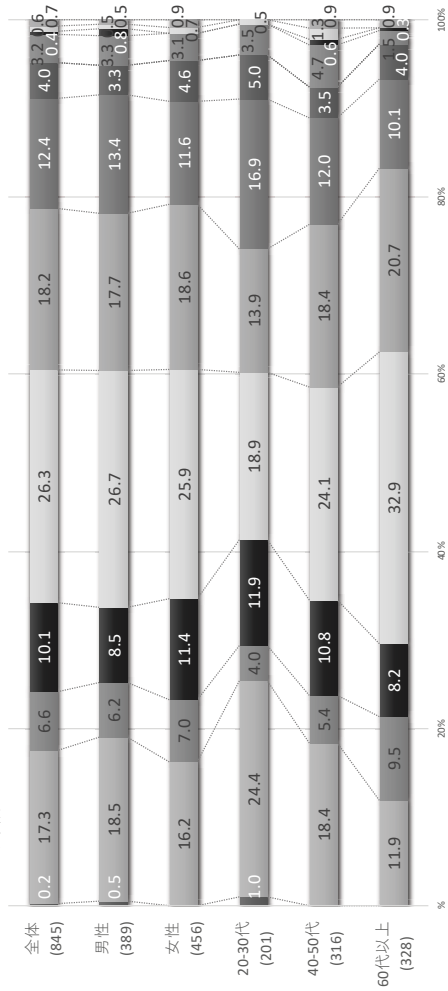
Q 2 (一般) : 医療AIに期待すること (2位)

- 特に期待するものはない
- 診療中の患者・医師間の対話の充実
- 提供される医療内容の質の向上
- 外来の診察までの待ち時間短縮
- 医療機関の経営の安定・改善
- その他
- 無回答
- 患者が病院で支払う負担額の軽減
- 医師の勤務体制の改善
- 医療の均一性(機関間・医師間での治療内容の違いの是正など)
- 治療開始から治療終了までの期間短縮
- 国の医療費の抑制
- わからない



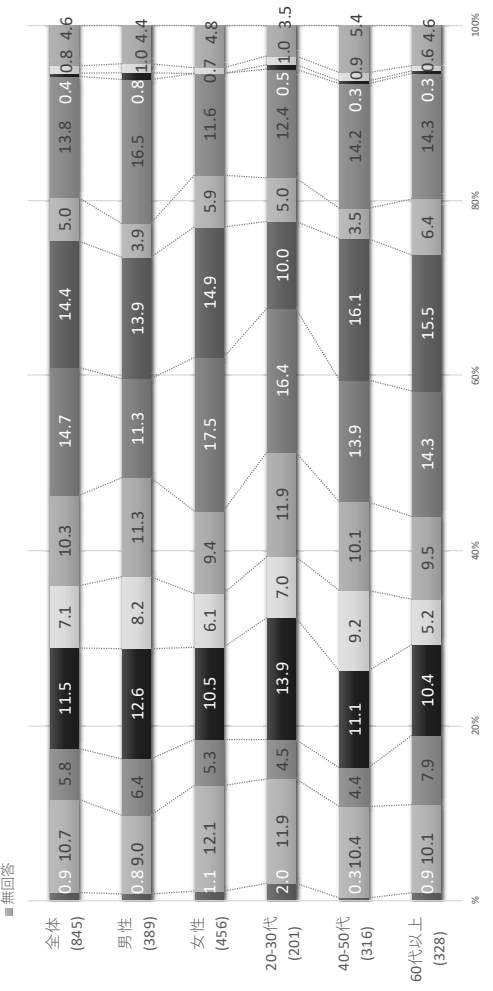
Q 2 (一般) : 医療AIに期待すること (1位)

- 特に期待するものはない
- 診療中の患者・医師間の対話の充実
- 提供される医療内容の質の向上
- 外来の診察までの待ち時間短縮
- 医療機関の経営の安定・改善
- その他
- 無回答
- 患者が病院で支払う負担額の軽減
- 医師の勤務体制の改善
- 医療の均一性(機関間・医師間での治療内容の違いの是正など)
- 治療開始から治療終了までの期間短縮
- 国の医療費の抑制
- わからない



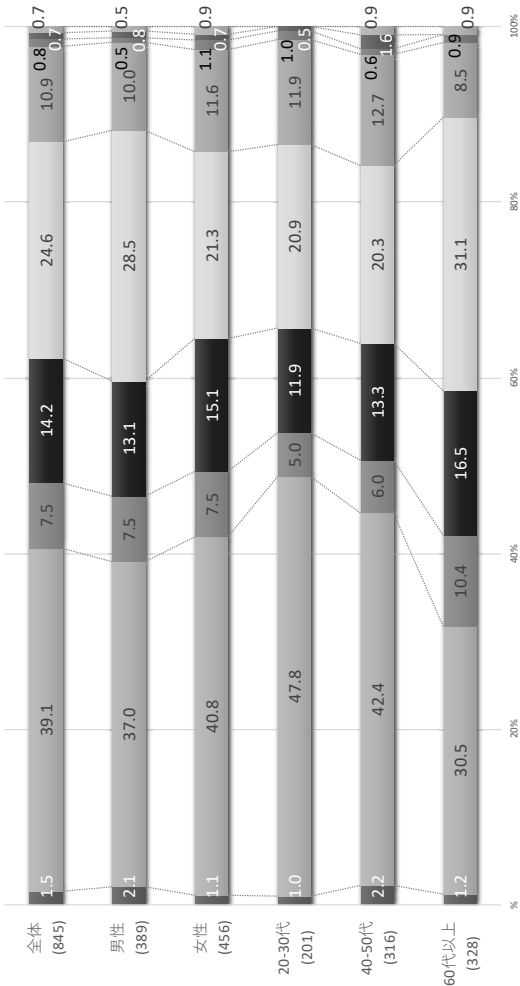
Q 2 (一般) : 医療AIに期待すること (3位)

- 特に期待するものはない
- 診療中の患者・医師間の対話の充実
- 提供される医療内容の質の向上
- 外来の診察までの待ち時間短縮
- 医療機関の経営の安定・改善
- その他
- 無回答
- 患者が病院で支払う負担額の軽減
- 医師の勤務体制の改善
- 医療の均一性(機関間・医師間での治療内容の違いの是正など)
- 治療開始から治療終了までの期間短縮
- 国の医療費の抑制
- わからない



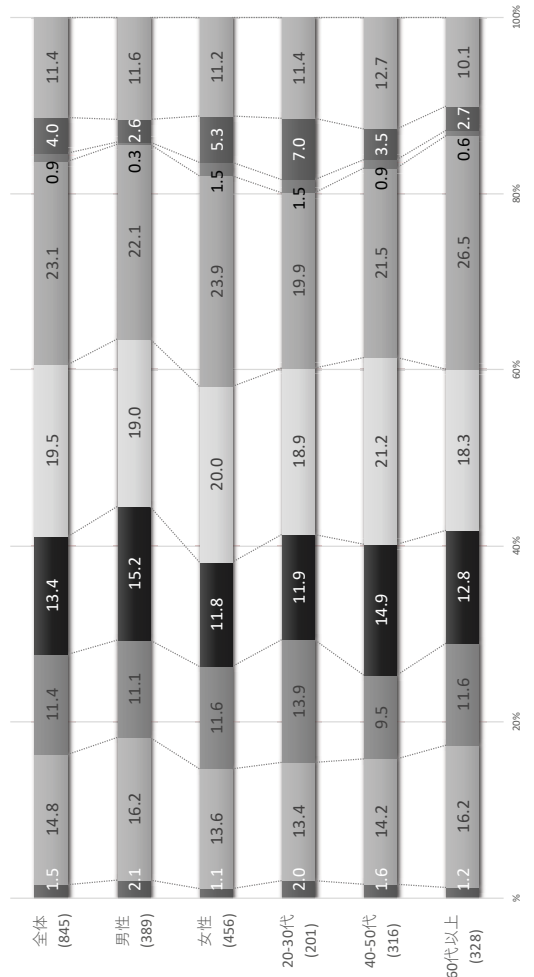
Q3 (一般)：医療AIの利用に対して感じる不安 (1位)

- 不安に感じることはない
- 患者が受けられる医療の格差の拡大
- 患者の生き方・価値観の監視
- 医師への影響、医師のAI依存が高まること
- A Iが示す「結果」「情報」の中立性、客観性
- その他
- わからない
- 無回答



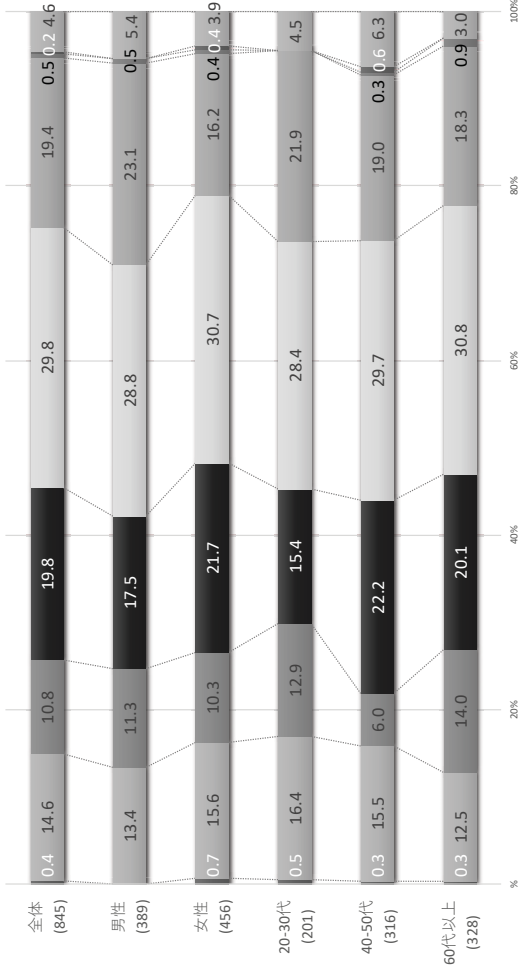
Q3 (一般)：医療AIの利用に対して感じる不安 (3位)

- 不安に感じることはない
- 患者が受けられる医療の格差の拡大
- 患者の生き方・価値観の監視
- 医師への影響、医師のAI依存が高まること
- A Iが示す「結果」「情報」の中立性、客観性
- その他
- わからない
- 無回答



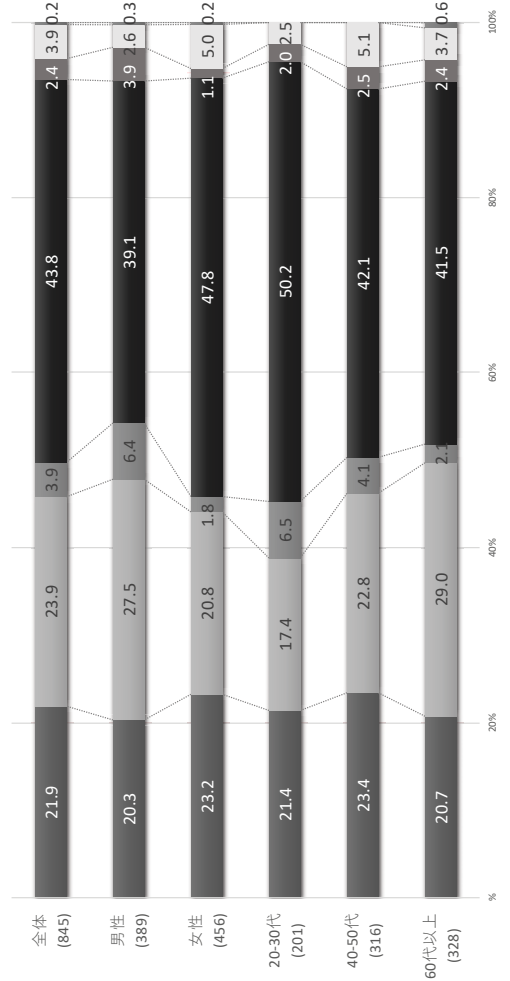
Q3 (一般)：医療AIの利用に対して感じる不安 (2位)

- 不安に感じることはない
- 患者が受けられる医療の格差の拡大
- 患者の生き方・価値観の監視
- 医師への影響、医師のAI依存が高まること
- A Iが示す「結果」「情報」の中立性、客観性
- その他
- わからない
- 無回答

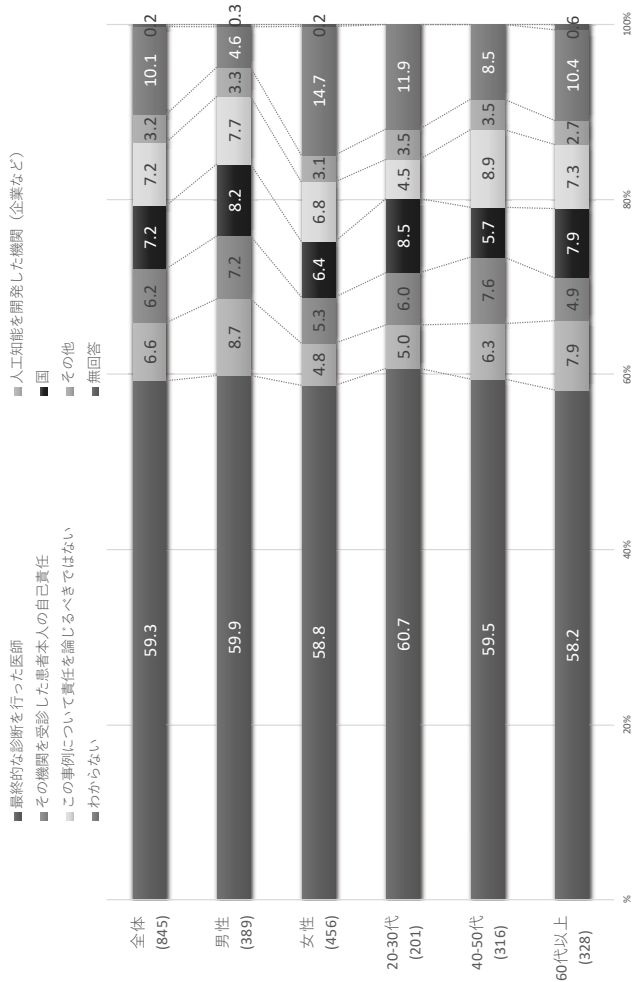


Q4 (一般)：医療AIによる判定結果が診断に用いられることに対する考え

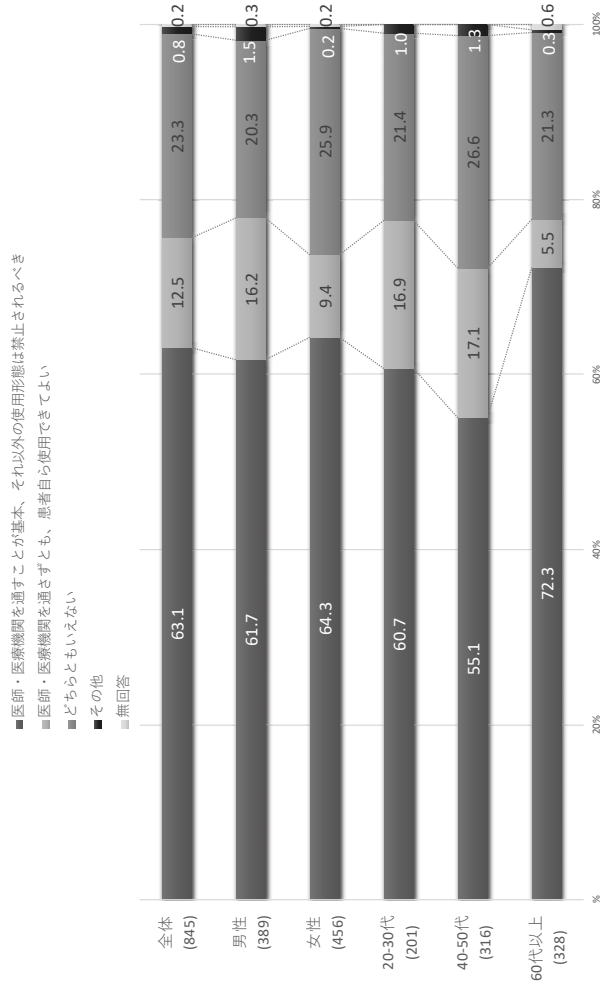
- 診療において、そのような状況は許されるべきではない
- 診療にあたる医師の裁量・判断に委ねられるべき
- 医師個人の主体性というより、勤務先の医療機関の方針に依るべき
- こうしたAIを使うかどうか主に患者の希望を尊重するべき
- その他
- わからない
- 無回答



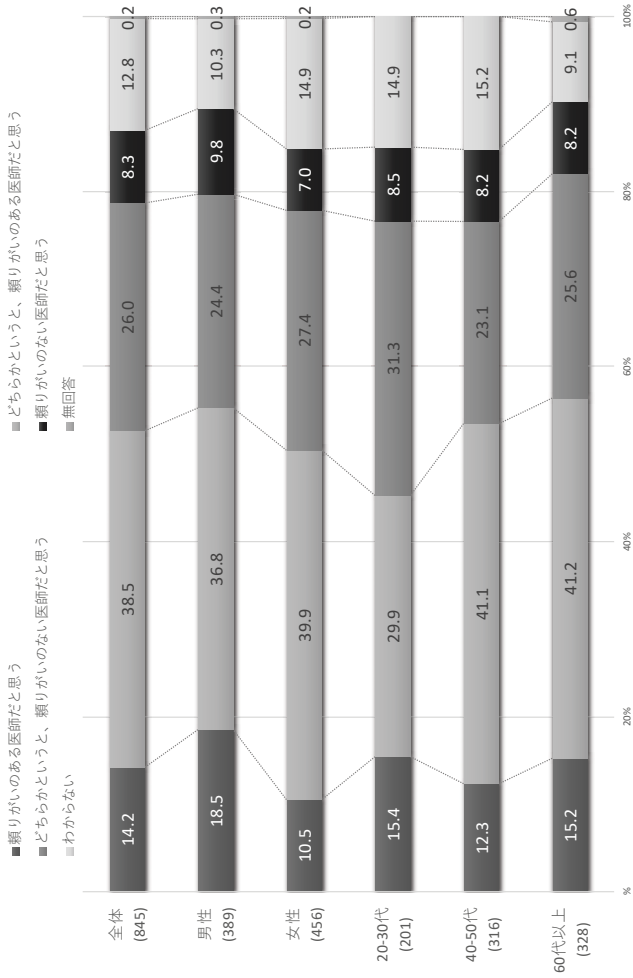
Q 5 (一般)：医療AIによって患者の回復が遅れた場合の責任対象



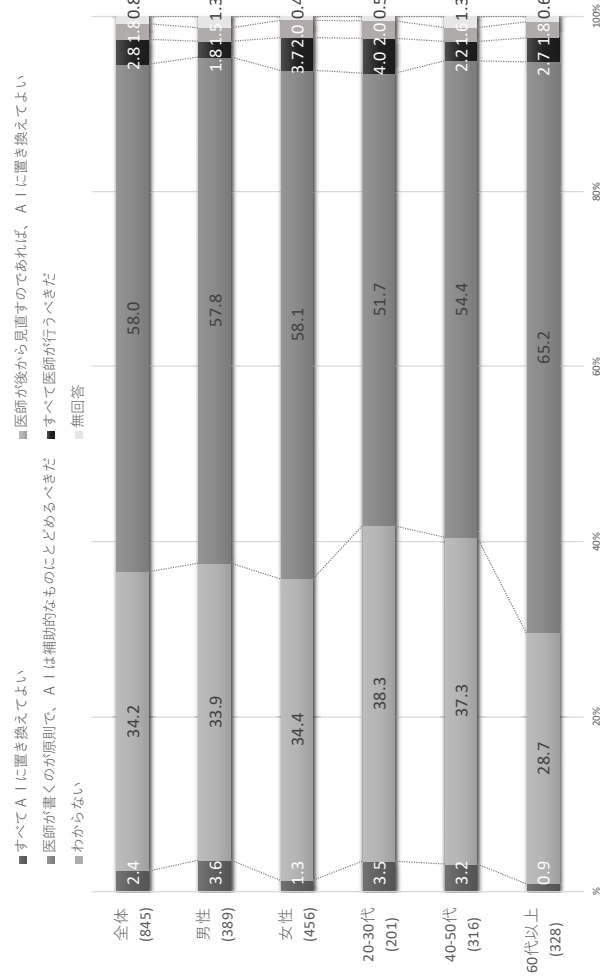
Q 7 (一般)：特定の疾患や健康状態を判定するための企業を通じた診断に対する考え



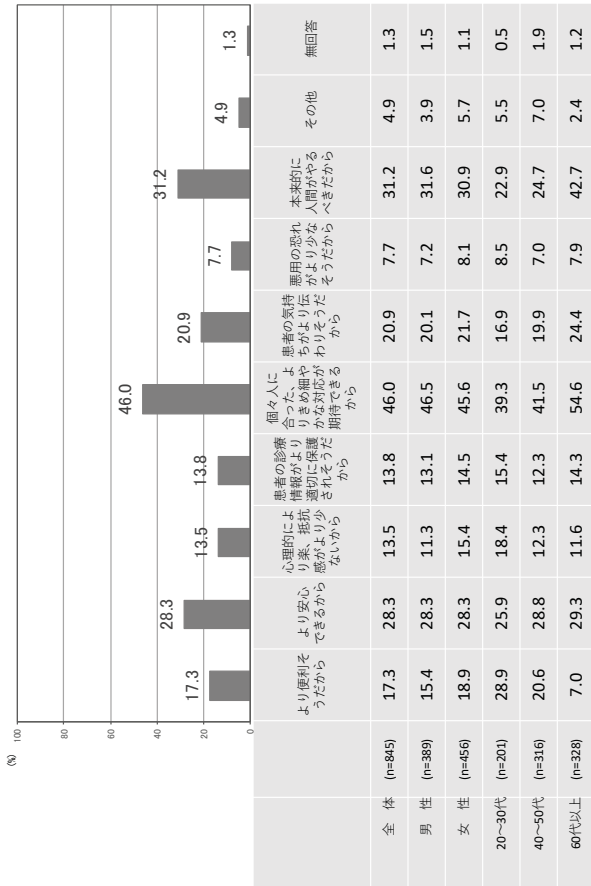
Q 6 (一般)：医療AIを使用した診察に対する考え



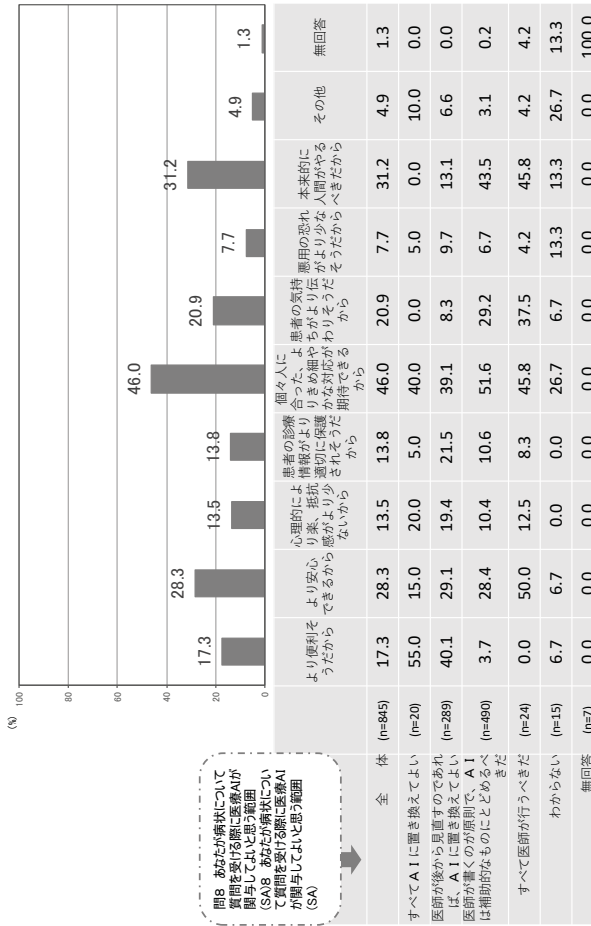
Q 8 (一般)：あなたが病状について質問を受ける際に医療AIが関与してよいくと思う範囲



Q 8-2 (一般) : Q 8で回答した内容のように思った理由 (複数回答)

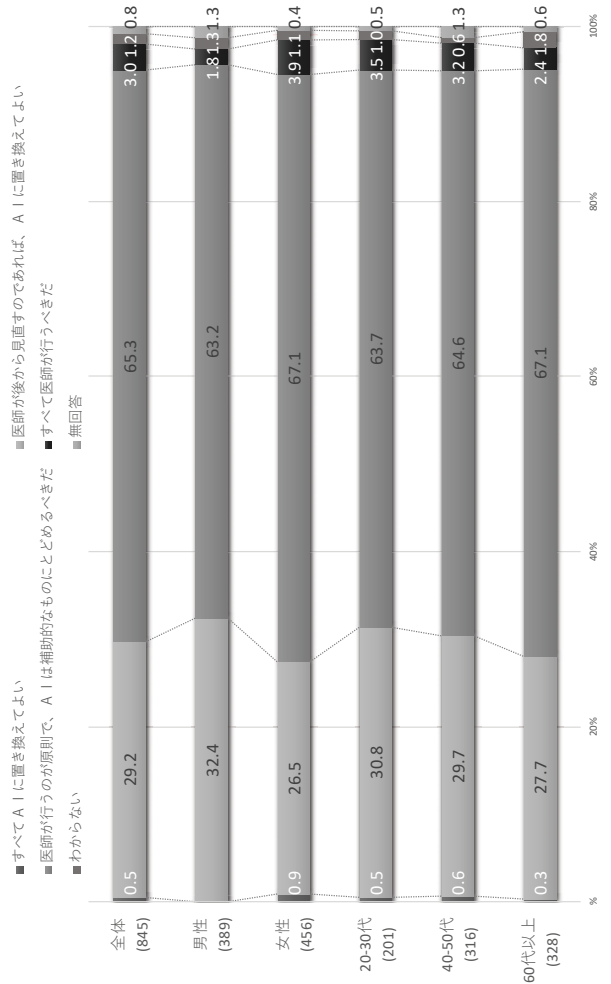


Q 8-2 (一般) : Q 8で回答した内容のように思った理由 (複数回答)

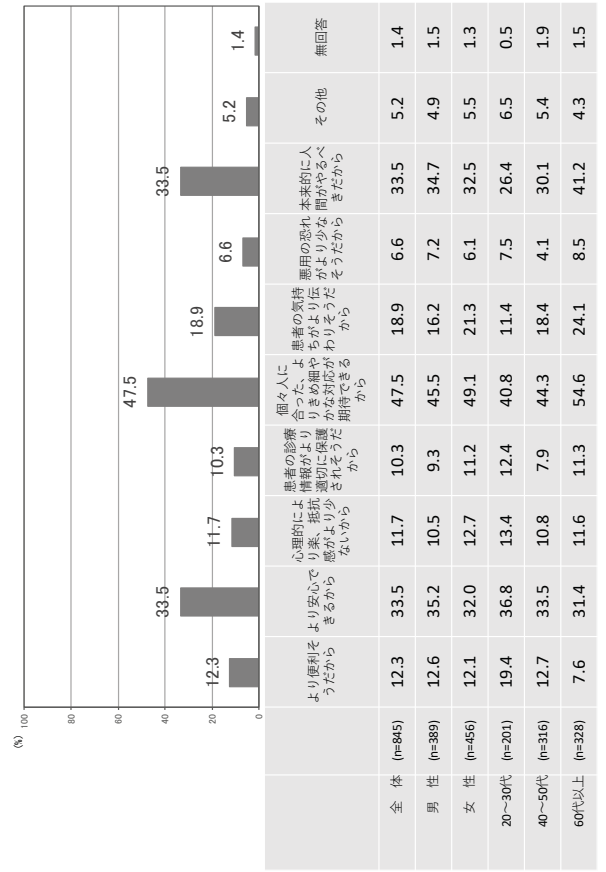


問8 おねがが病状について
申し立てる際に医師が
申し立てる理由について
(SA) おねがが病状について
が関与してはと思う範囲
(SA)

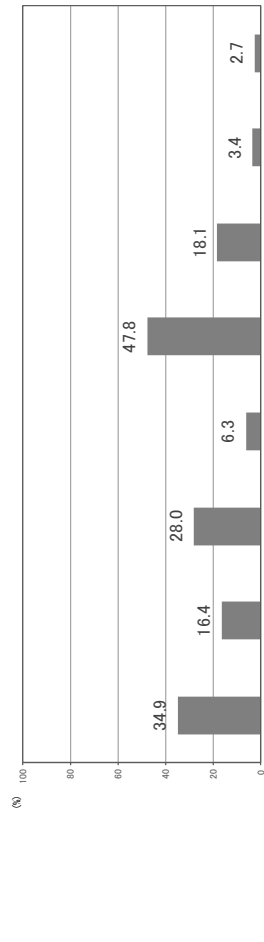
Q 9 (一般) : 判断・思考のプロセスについて、AIによる作業の自動化・機械化はどこまで進められてよいか



Q 9-2 (一般) : Q 9で回答した内容のように思った理由 (複数回答)

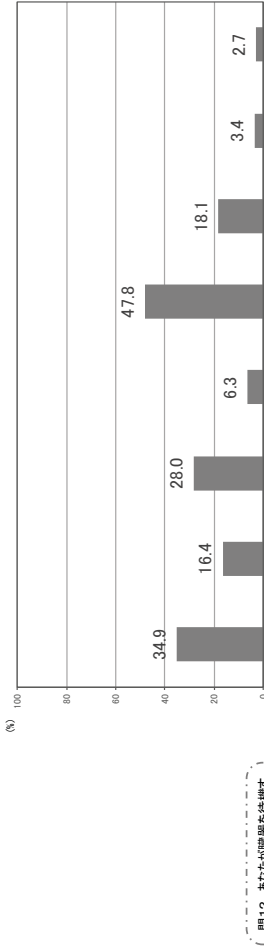


Q 1 2 - 2 (一般) : Q 1 2 で回答した内容のように思った理由 (複数回答)



	結果をより信頼できるから	心理的により形より公平な仕組みが少いから	悪用が少いから	悪用が少いから	本来的に人間がやるべきことだから	その他	無回答
全体 (n=845)	34.9	16.4	28.0	6.3	18.1	3.4	2.7
男性 (n=389)	34.7	16.7	29.3	5.4	19.3	2.6	1.3
女性 (n=456)	35.1	16.2	27.0	7.0	17.1	4.2	3.9
20~30代 (n=201)	46.3	13.9	29.4	6.0	13.4	3.5	1.5
40~50代 (n=316)	34.2	13.0	30.1	4.7	14.9	3.2	1.3
60代以上 (n=328)	28.7	21.3	25.3	7.9	24.1	3.7	4.9

Q 1 2 - 2 (一般) : Q 1 2 で回答した内容のように思った理由 (複数回答)



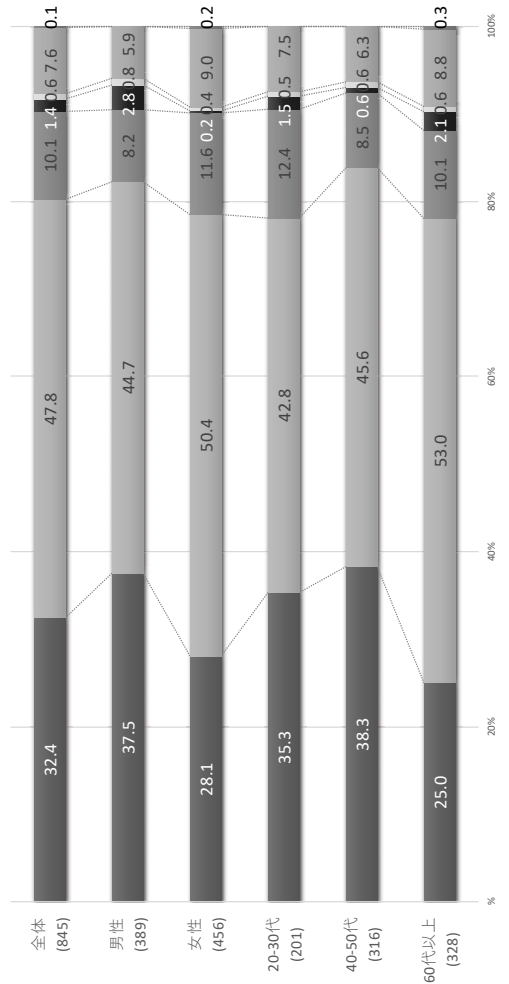
	結果をより信頼できるから	心理的により形より公平な仕組みが少いから	悪用が少いから	悪用が少いから	本来的に人間がやるべきことだから	その他	無回答
全体 (n=845)	34.9	16.4	28.0	6.3	18.1	3.4	2.7
すべてA I に置き換えてよい (n=29)	48.3	24.1	65.5	3.4	24.1	0.0	0.0
専門家が後で見直すのであれば、A I に置き換えてよい (n=306)	39.2	15.4	42.8	6.5	45.1	7.2	2.0
専門家が行うのが原則で、A I は補助的なものにとどめるべきだ (n=425)	34.1	19.3	19.3	7.1	56.9	25.6	1.4
すべてで専門家が行うべきだ (n=36)	41.7	8.3	11.1	0.0	36.1	41.7	0.0
わからない (n=47)	2.1	0.0	0.0	4.3	6.4	14.9	40.4
無回答 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0

図12 あなたが機器を待機する立場にのびたとき、A I の活用についてお感じの強さ (A I)

Q 1 3 (一般) : 診療情報について第三者の企業から提供を

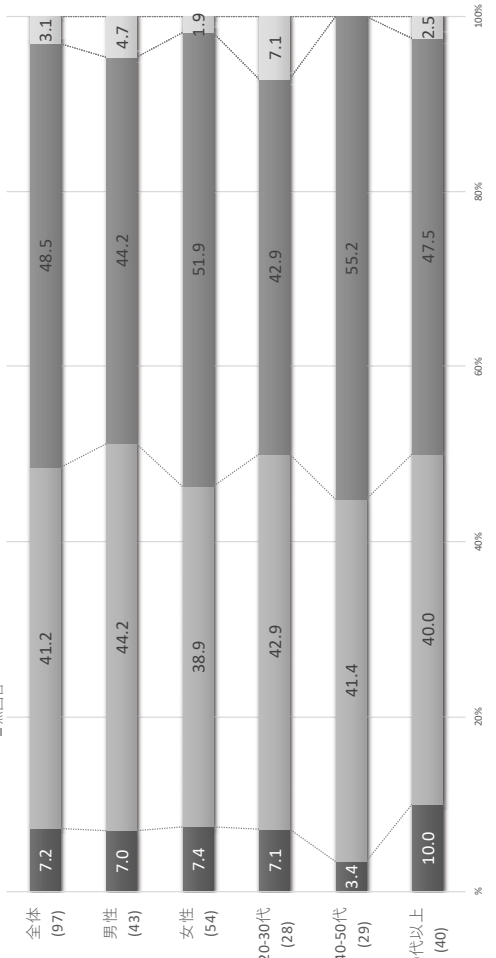
依頼されることに対する考え

- 協力したい・協力してもよい
- どちらかという協力したい
- どちらかという協力したくない
- 協力すべきでない
- わからない
- その他
- 無回答



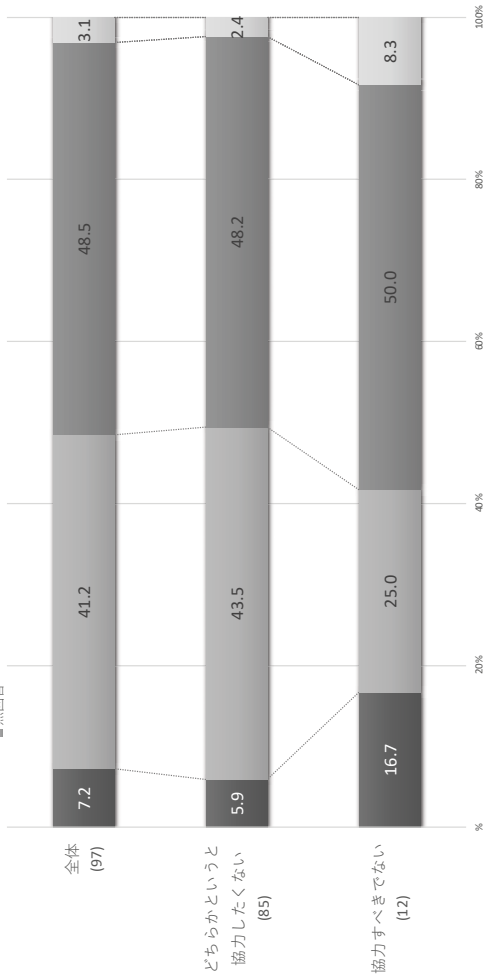
Q 1 3 - 2 (一般) : 問13のように回答した理由 (1位)

- 自分の情報が「A I (人工知能) の学習」の役に立つとは思えないから
- カルテは治療以外の目的で第三者に見せるものではないから
- 提供先の第三者における情報の管理に不安があるから
- 無関心・こうした活動に興味がない
- その他
- 無回答



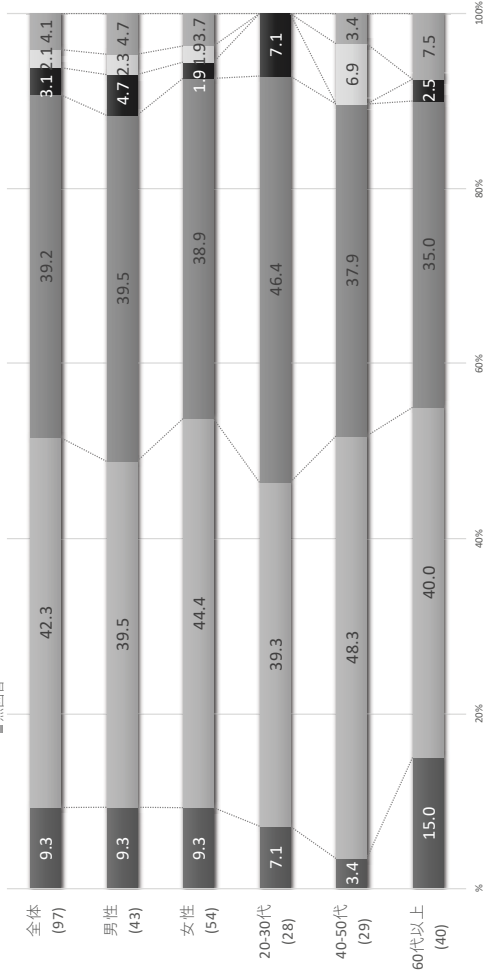
Q 1 3 - 2 (一般) : 問 1 3 のように回答した理由 (1位)

- 自分の情報が「(A I (人工知能)の学習)」「研究開発」の役に立つと思えないから
- カルテは治療以外の目的で第三者に見せるものではないから
- 提供先の第三者における情報の管理に不安があるから
- 無関心・こうした活動に興味がない
- その他
- 無回答



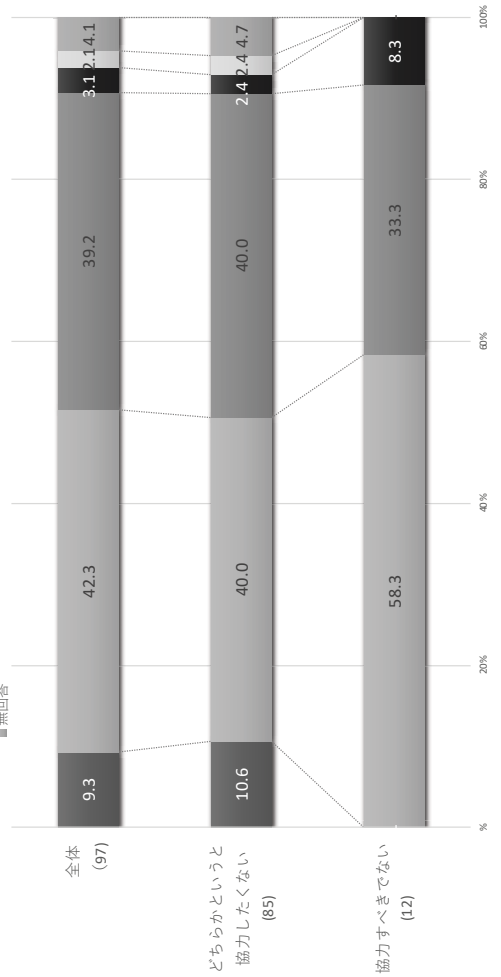
Q 1 3 - 2 (一般) : 問 1 3 のように回答した理由 (2位)

- 自分の情報が「(A I (人工知能)の学習)」「研究開発」の役に立つと思えないから
- カルテは治療以外の目的で第三者に見せるものではないから
- 提供先の第三者における情報の管理に不安があるから
- 無関心・こうした活動に興味がない
- その他
- 無回答



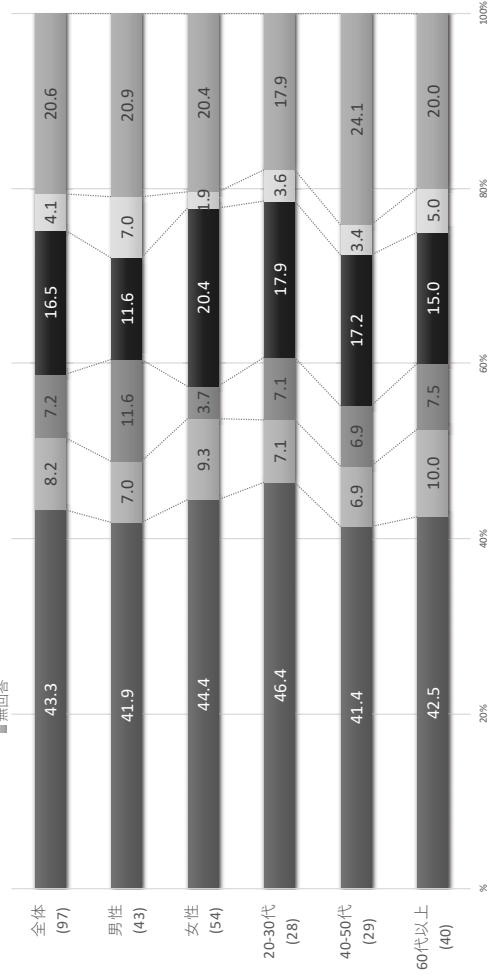
Q 1 3 - 2 (一般) : 問 1 3 のように回答した理由 (2位)

- 自分の情報が「(A I (人工知能)の学習)」「研究開発」の役に立つと思えないから
- カルテは治療以外の目的で第三者に見せるものではないから
- 提供先の第三者における情報の管理に不安があるから
- 無関心・こうした活動に興味がない
- その他
- 無回答



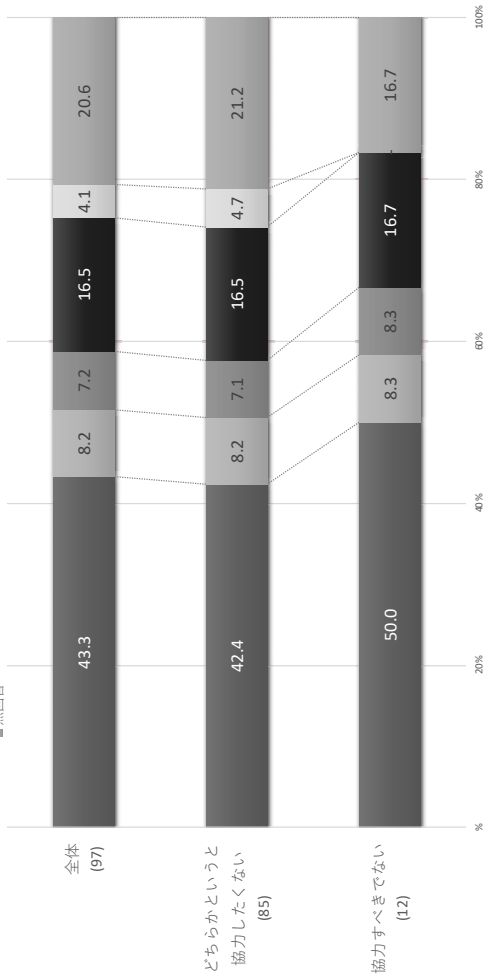
Q 1 3 - 2 (一般) : 問 1 3 のように回答した理由 (3位)

- 自分の情報が「(A I (人工知能)の学習)」「研究開発」の役に立つと思えないから
- カルテは治療以外の目的で第三者に見せるものではないから
- 提供先の第三者における情報の管理に不安があるから
- 無関心・こうした活動に興味がない
- その他
- 無回答



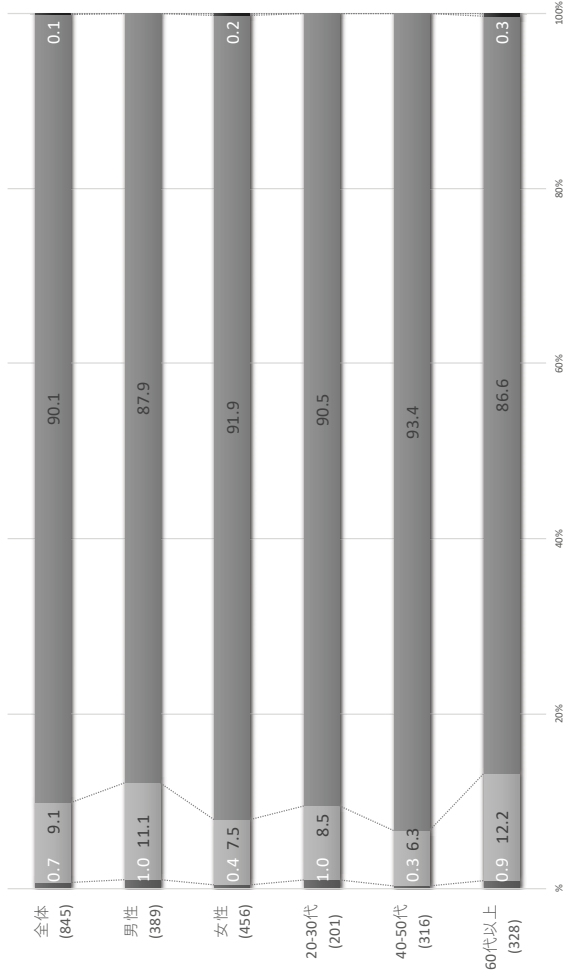
Q 1 3 - 2 (一般) : 問 1 3 のように回答した理由 (3位)

- 自分の情報が「(A I (人工知能)の学習)」「研究開発」の役に立つとは思えないから
- カルテは治療以外の目的で第三者に送るものではないから
- 提供先の第三者における情報の管理に不安があるから
- 無関心・こうした活動に興味がない
- その他
- 無回答

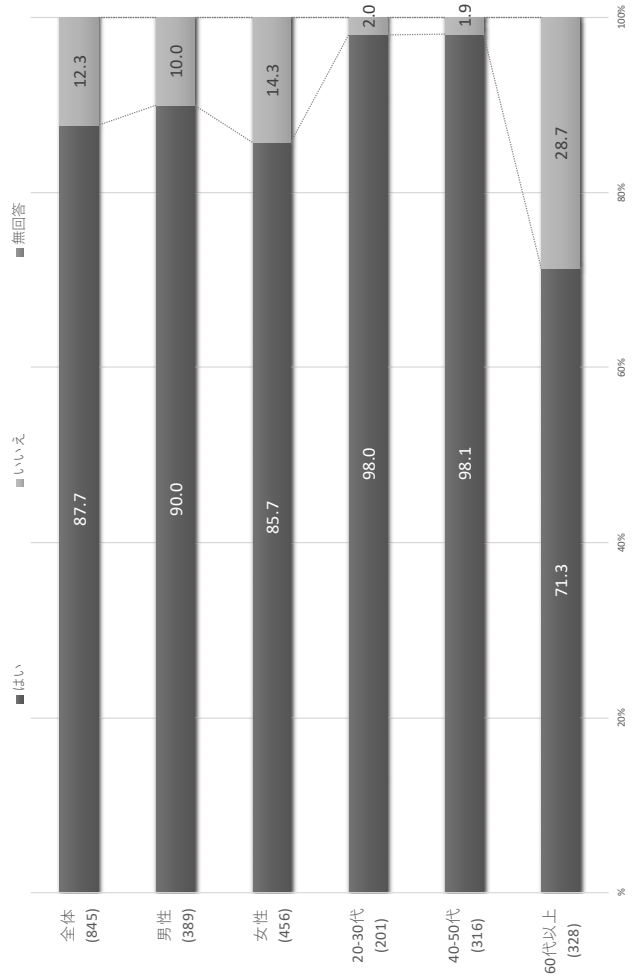


Q 1 4 (一般) : 「次世代医療基盤法」又は「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律」の認知

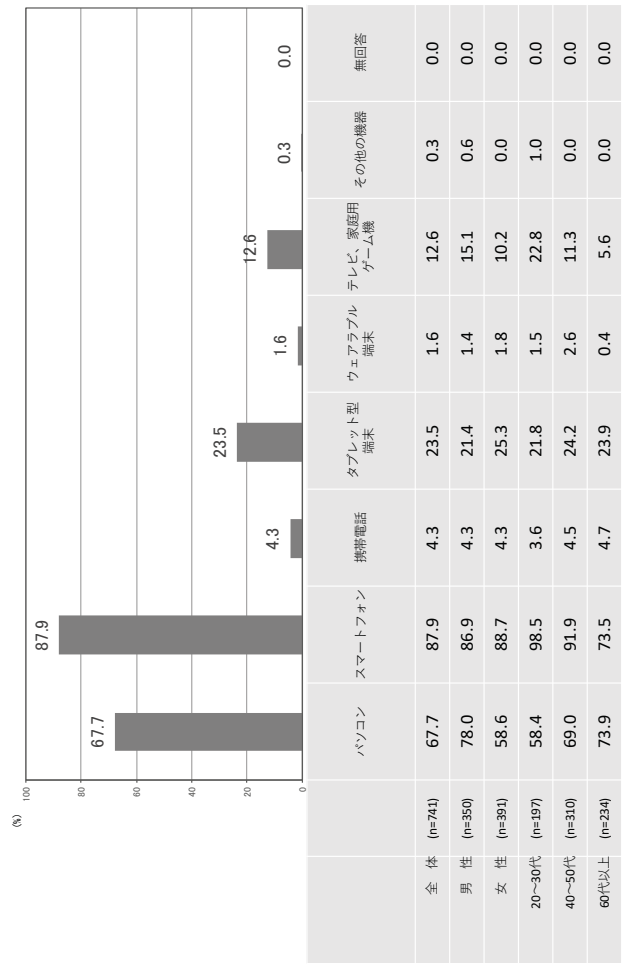
- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 聞いたことがなかった
- 無回答



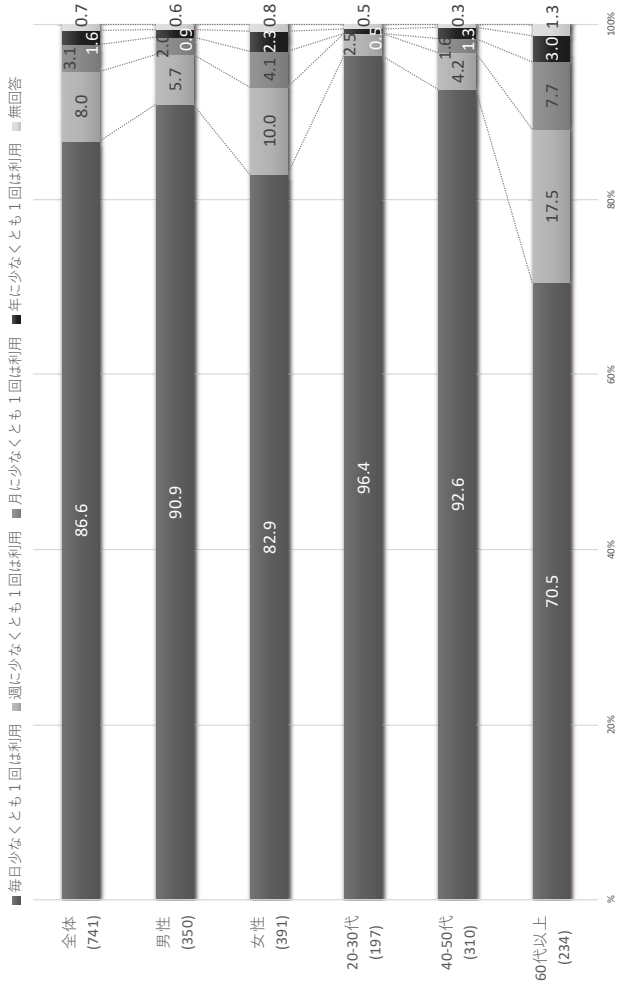
Q 1 5 (一般) : 過去1年間におけるインターネットの利用有無



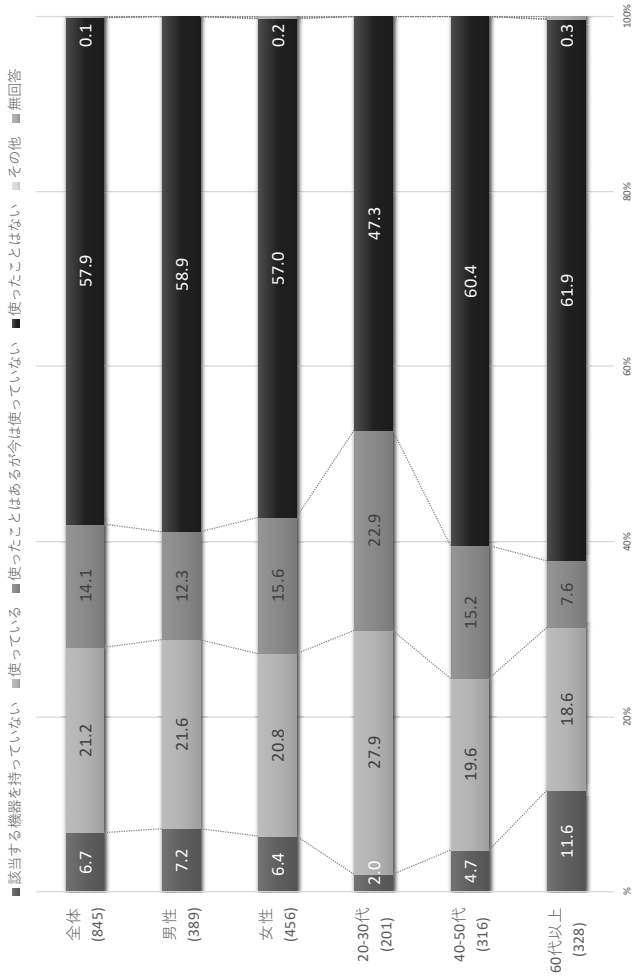
Q 1 5 - 2 (一般) : インターネットを利用した機器 (複数回答)



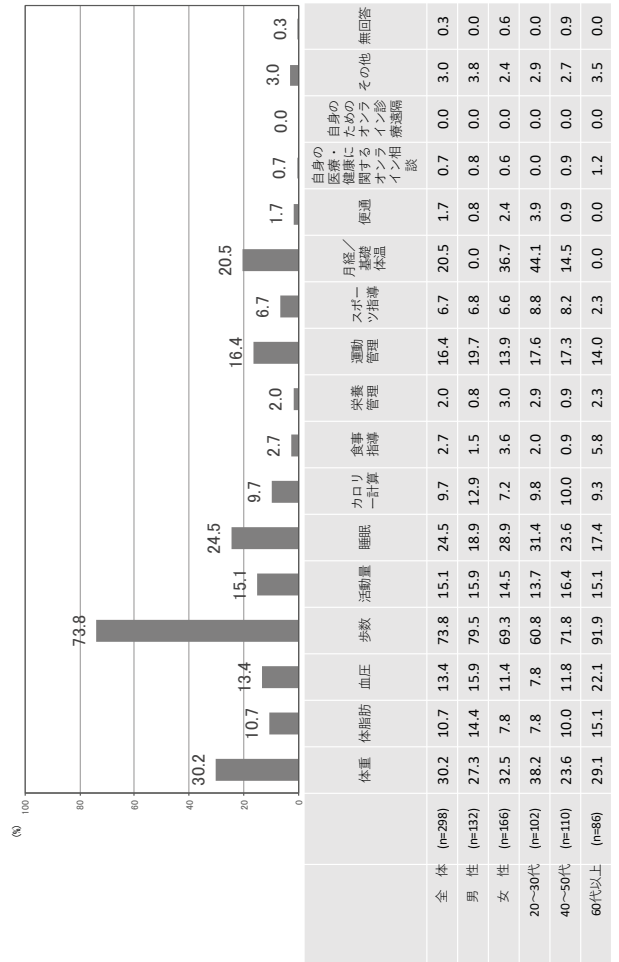
Q 1 6 (一般)：私生活におけるインターネットの利用頻度



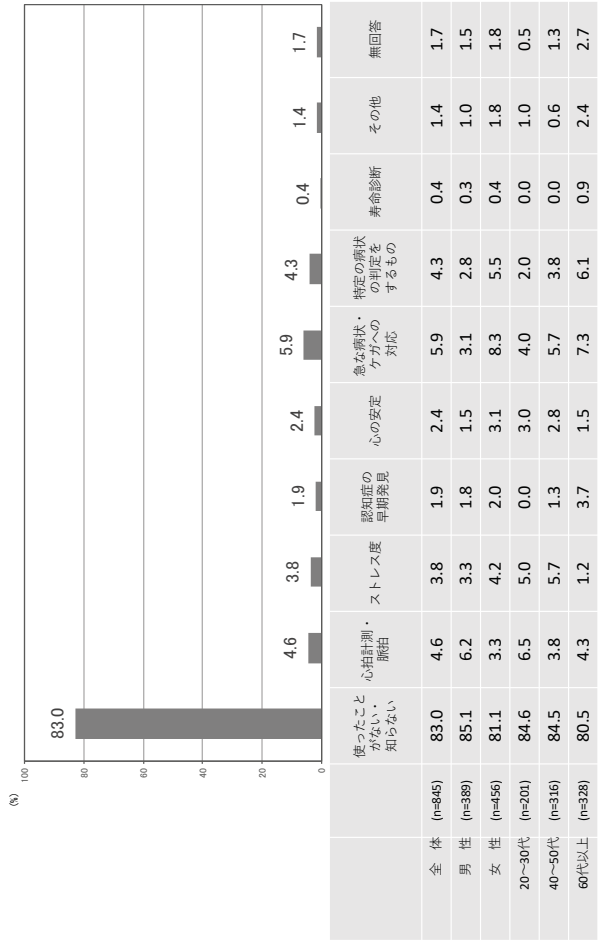
Q 1 7 (一般)：健康生活の維持を目的としたアプリの利用有無



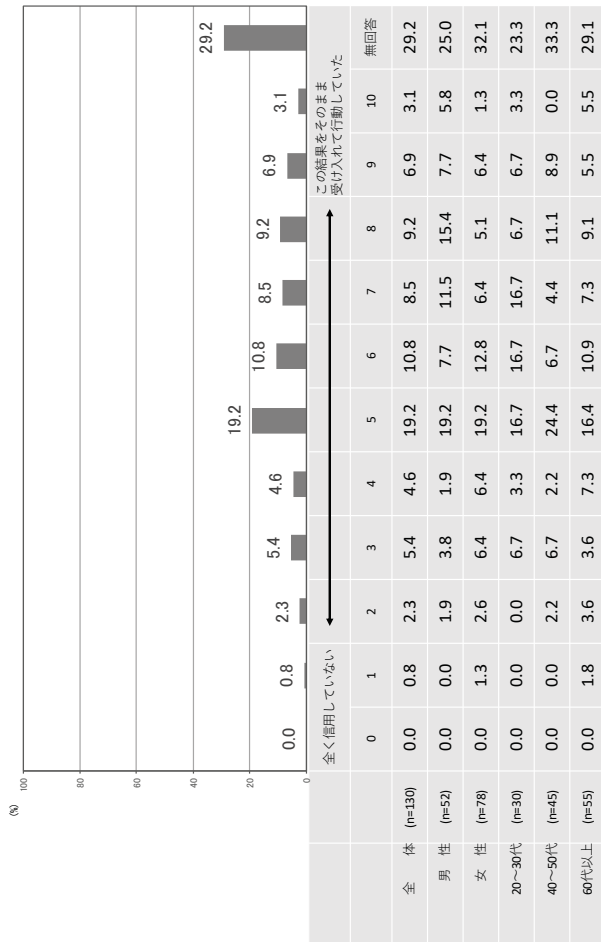
Q 1 7-2 (一般)：主に利用している/していたサービスの分野 (複数回答)



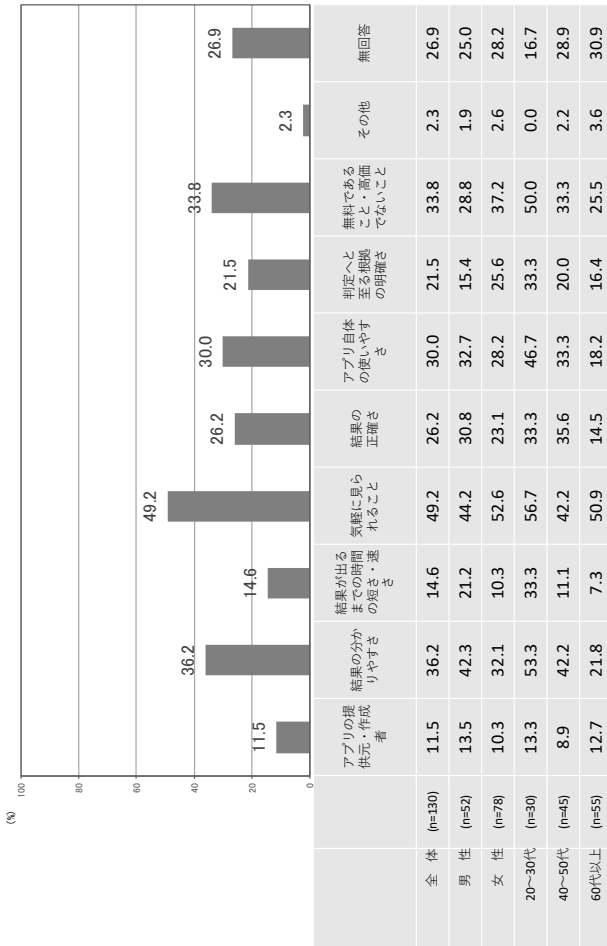
Q 1 8 (一般)：「病気」「症状」のチェック/診断をするアプリの利用有無 (複数回答)



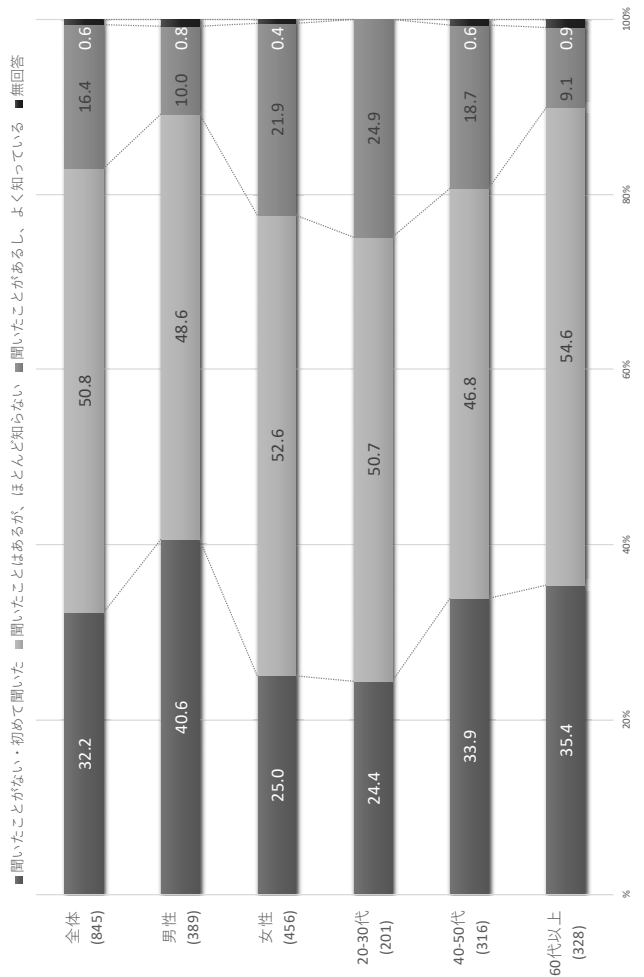
Q 1 8-2 (一般) : Q 1 8で選んだアプリの判定結果についてどれくらい影響を受けたか



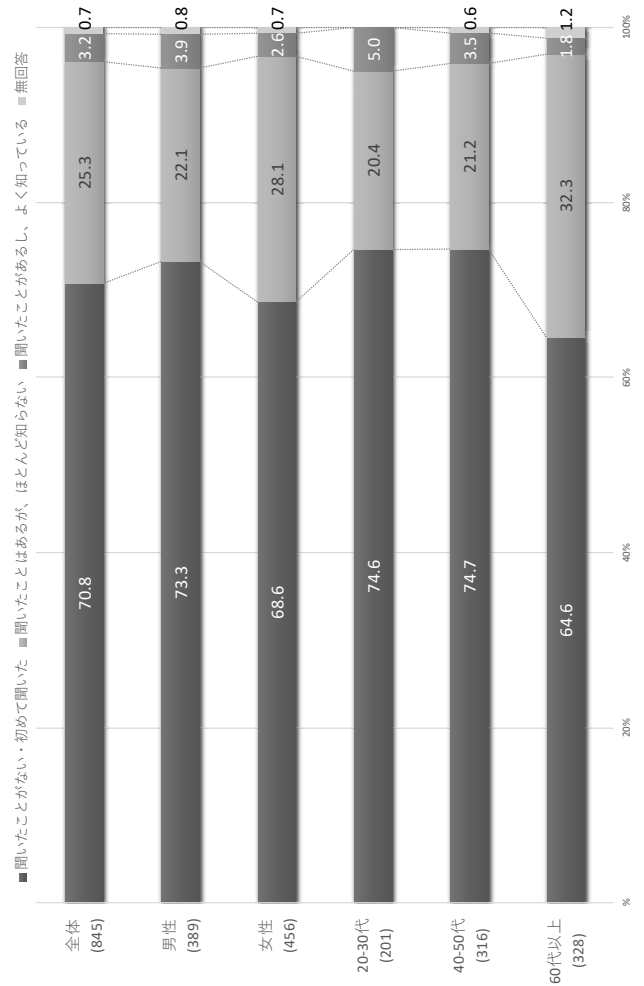
Q 1 8-3 (一般) : Q 1 8で選んだアプリの結果を見る際の特に重要な点 (複数回答)



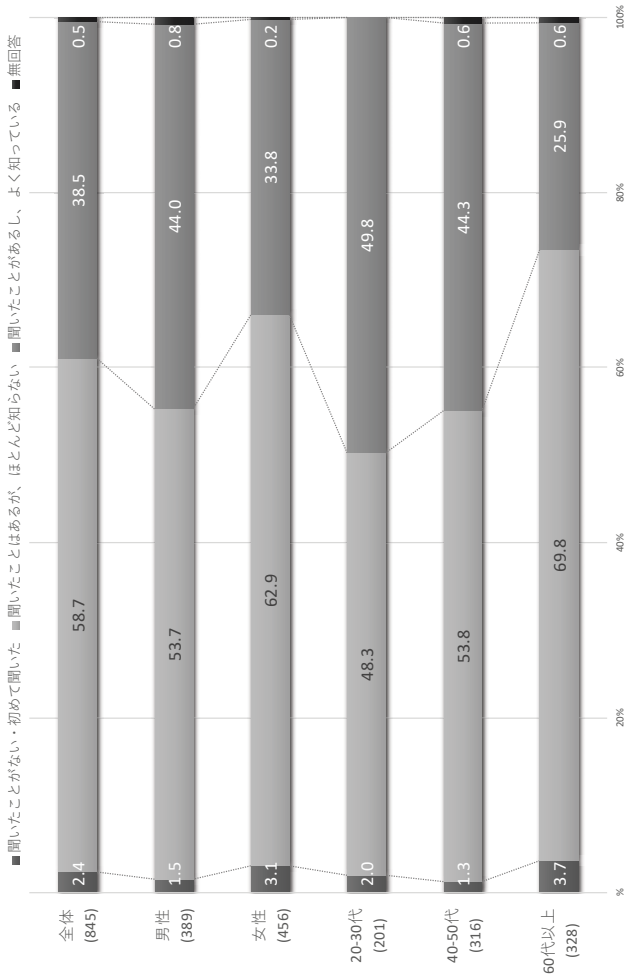
Q 1 9 (一般) : 救急電話相談の認知



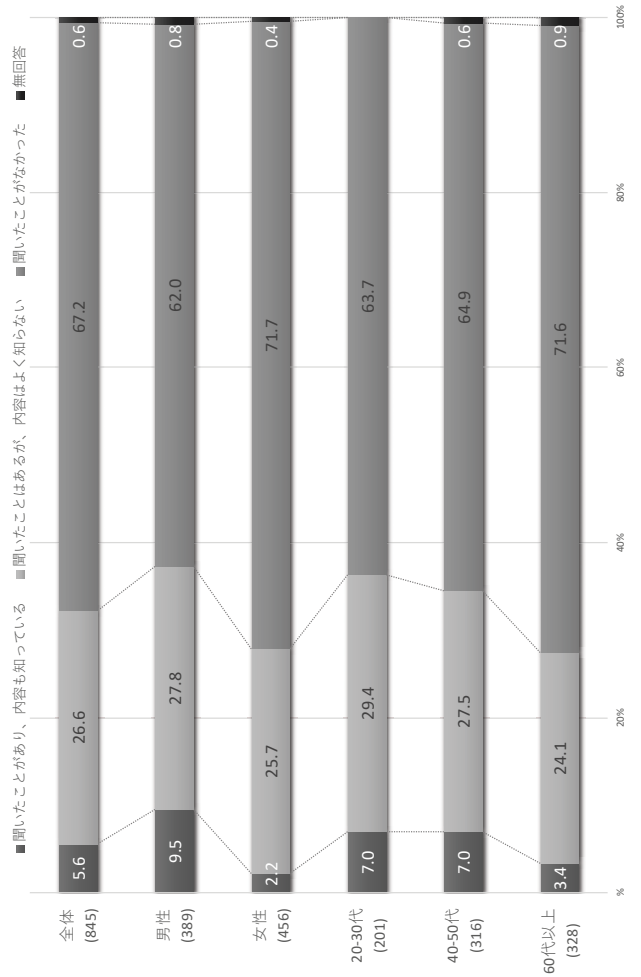
Q 2 0 (一般) : 自治体や消防庁によるアプリ公開の認知



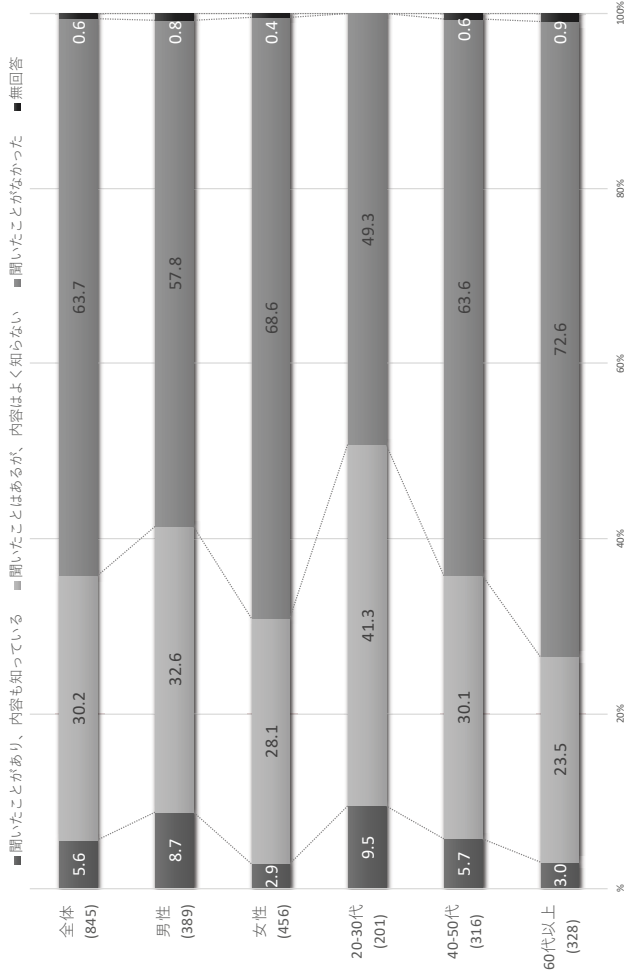
Q 2 1 (一般) : 人工知能 (AI) という言葉の認知



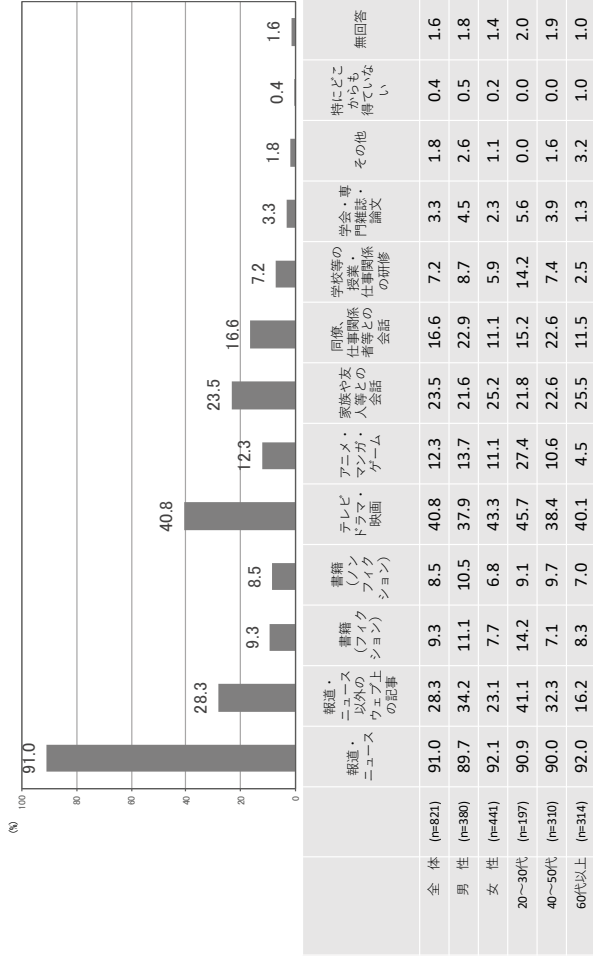
Q 2 3 (一般) : ディープ・ラーニングという言葉の認知



Q 2 4 (一般) : 機械学習という言葉の認知

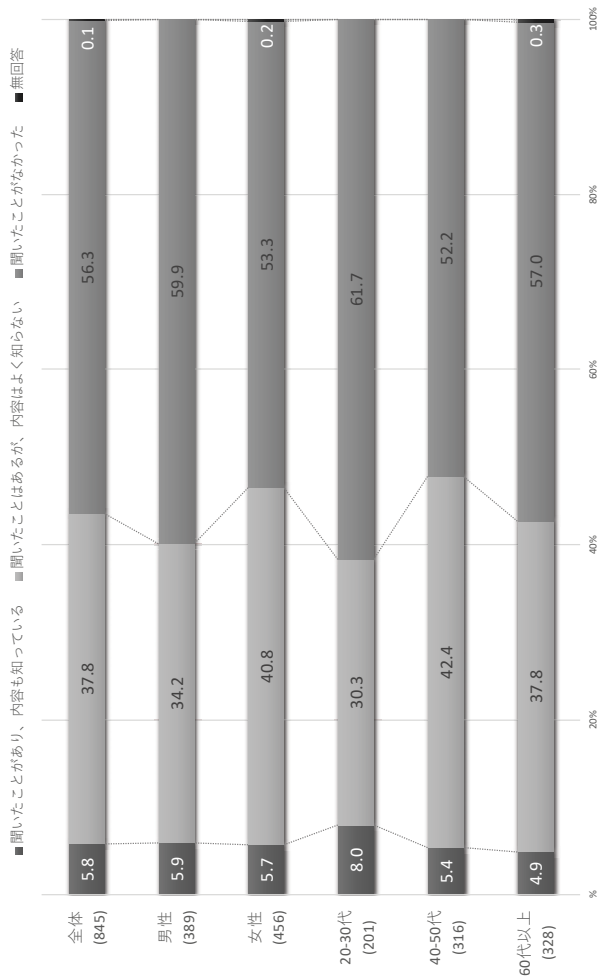


Q 2 2 (一般) : 「人工知能 (AI)」 についての情報取得先 (複数回答)



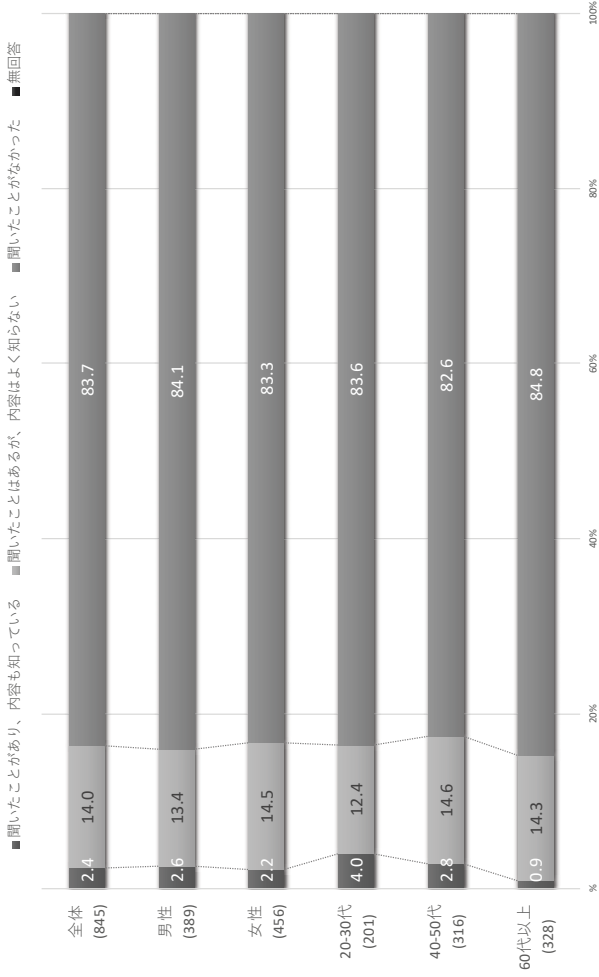
Q 25 (一般) : 副作用が疑われる症例報告義務

についての認知



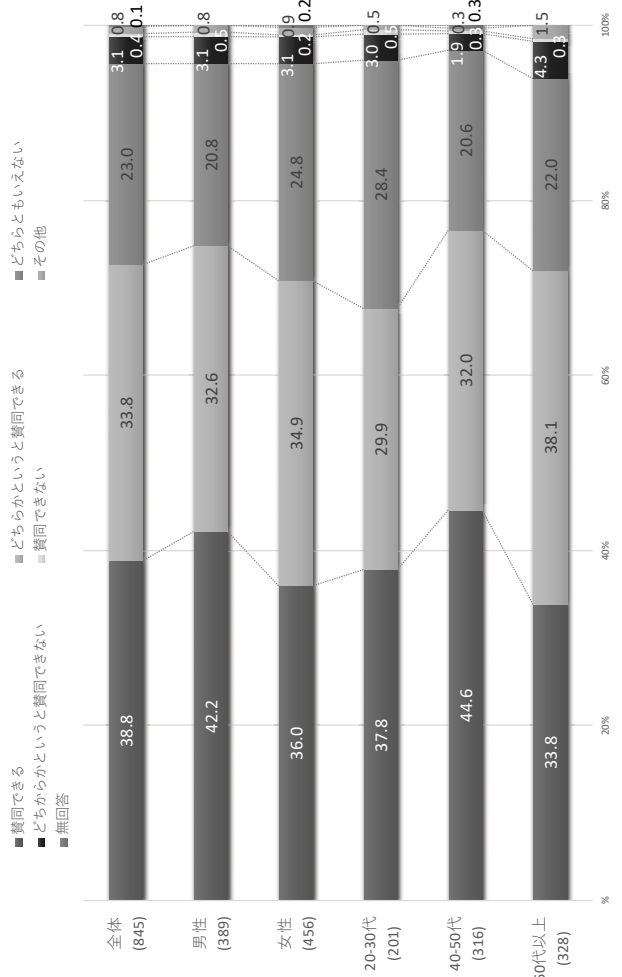
Q 26 (一般) : 副作用が疑われる情報を「患者自身」が国の規制当局に

直接報告できる制度の認知

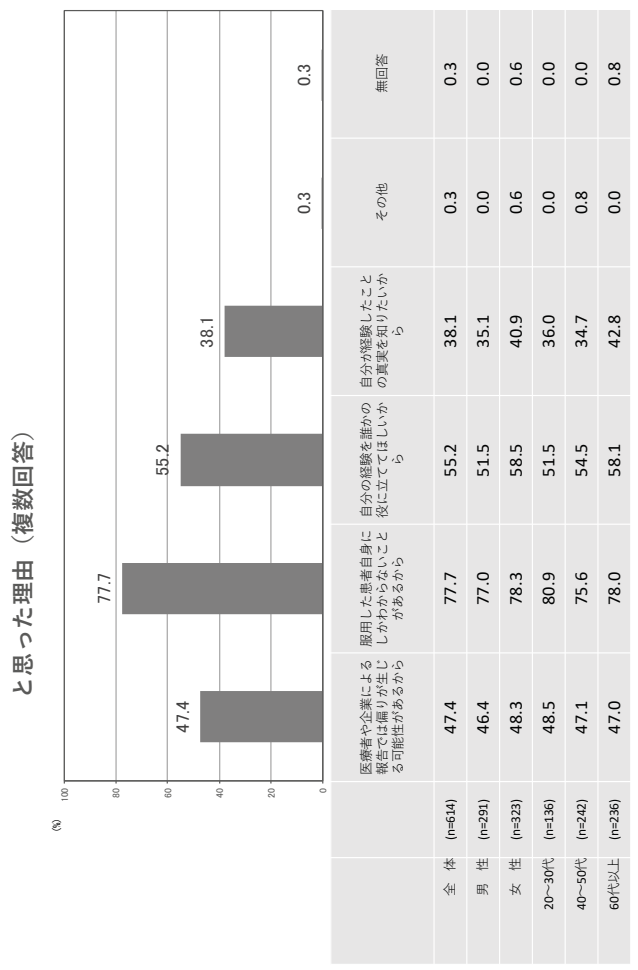


Q 27 (一般) : 「副作用」について、自身で国の規制当局に

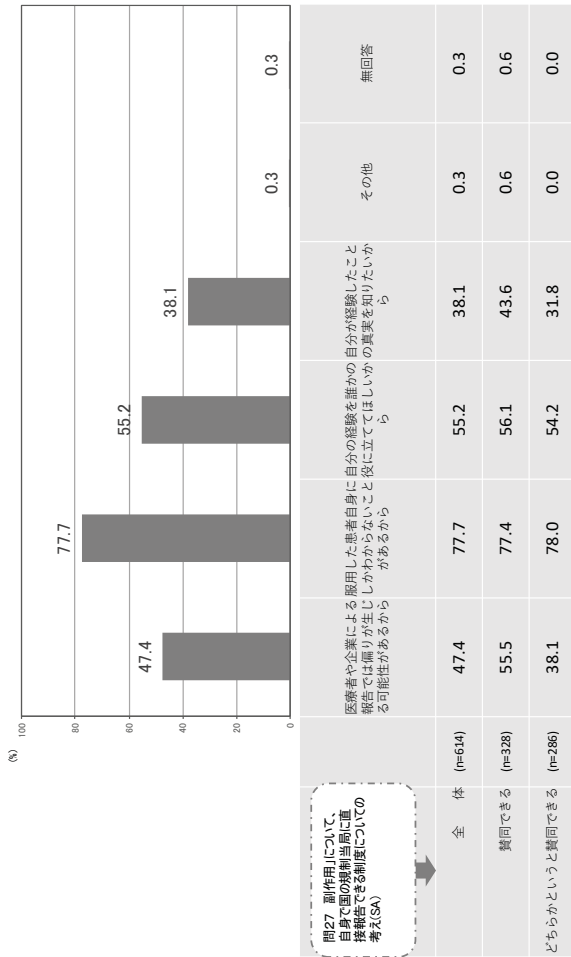
直接報告できる制度についての考え



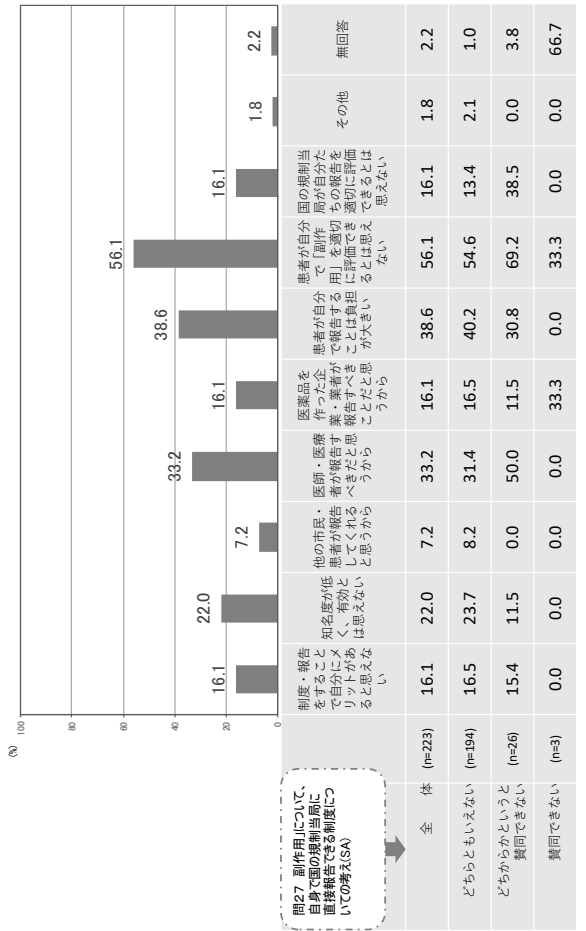
Q 27-2 (一般) : Q 27で「1 賛同できる」「2 どちらかというと同様できる」と思った理由 (複数回答)



Q 27-2 (一般) : Q 27で「1 賛同できる」「2 どちらか」というと賛同できると思った理由 (複数回答)



Q 27-2 (一般) : Q 27で「3 どちらともいえない」「4 どちらか」というと賛同できない「5 賛同できない」と思った理由 (複数回答)



Q 27-2 (一般) : Q 27で「3 どちらともいえない」「4 どちらか」というと賛同できない「5 賛同できない」と思った理由 (複数回答)

